

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.10

名前

得点

/10

**問1** 17世紀末から18世紀初頭のロシアでは、国家の近代化を目指して大規模な改革が推進された。スウェーデンとの北方戦争中にバルト海沿岸に新首都を建設して西欧化を進め、また東方では清の康熙帝との間で国境を画定する条約を締結したロシアの皇帝は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. アレクサンドル1世      2. ピョートル1世      3. エカチェリーナ2世      4. ニコライ2世

**問2** 16世紀から17世紀のヨーロッパにおいて、宗教改革や三十年戦争を経て形成された、各国家が互いに独立した最高権力を持ち、明確な境界線で区切られた領域内での支配権を相互に認め合うことで成立した国際秩序を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 絶対主義体制      2. 領邦国家体制      3. 主権国家体制      4. 勢力均衡体制

**問3** 16世紀、新大陸に進出したスペインはエンコミエンダ制などを通じて植民地支配を広げたが、現地の人々に対する過酷な使役や虐待が問題視された。これに対し、ドミニコ会の修道士として現地の実態を告発し、国王カルロス1世に先住民の保護と人道的な扱いを強く訴えた人物は誰か。 （2015年 全国公立入試 類似）

1. ルイス＝フロイス      2. アダム＝シャル      3. マテオ＝リッチ      4. ラス＝カサス

**問4** 18世紀半ばにビルマ（ミャンマー）を統一し、1767年には隣国タイのアユタヤ朝を滅ぼしたが、19世紀にイギリスとの戦争に敗れてインド帝国に併合された王朝は何か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. トゥングー朝      2. スコータイ朝      3. コンバウン朝      4. ランサーン朝

**問5** 清朝の全盛期を築いたある皇帝は、ジュンガルや回部を平定して中央アジアの広大な地域を「新しい土地」を意味する藩部として統治下に置き、これを「新疆」と名付けた。十全武功と称される軍事遠征を行い、清の領土を最大に広げたこの皇帝は誰か。 （2022年 全国公立入試 類似）

1. 乾隆帝      2. 順治帝      3. 康熙帝      4. 雍正帝

**問6** 1526年のパーニーパットの戦いでデリー＝スルタン朝最後の王朝を破ったバーブルによって創始され、16世紀以降のインドを支配したイスラーム王朝を何というか。 （2015年 全国公立入試 類似）

1. ガズナ朝      2. ゴール朝      3. ムガル帝国      4. ロディー朝

**問7** 18世紀後半、清朝は積極的な外征を行い、オイラト系の遊牧勢力を討伐してタリム盆地一帯を支配下に収め、その地を『新疆』と名付けて最大領土を確立した。この外征を主導し、清の全盛期を築いた皇帝は誰か。 （2007年 全国公立入試 類似）

1. 康熙帝      2. 光緒帝      3. 雍正帝      4. 乾隆帝

**問8** 明の洪武帝が、民衆統治と財政基盤の安定のために整備した、110戸を単位として徴税や治安維持の責任を共同で負わせた村落行政制度を何というか。 （2005年 全国公立入試 類似）

1. 保甲制      2. 三長制      3. 郡県制      4. 里甲制

**問9** 1757年、イギリス東インド会社がフランスと現地のベンガル太守の連合軍を破り、インド東部における実質的な支配権を獲得して植民地支配の基礎を築いた戦いは何か。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. ワーディワーシュの戦い      2. ブクサールの戦い      3. セリಂಗパタムの戦い      4. ブラッシーの戦い

**問10** フランスの絶対王政期において、宰相リシュリューを重用して王権の強化に努め、対外的にはハプスブルク家を打倒するために新教徒側を支援して三十年戦争への介入を決定した国王は誰か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. ルイ16世      2. ルイ15世      3. ルイ13世      4. ルイ14世

## 答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 2 ピョートル1世	17世紀末に即位したロシア皇帝は、自ら西欧を視察して近代化の必要性を痛感し、内政・軍事の西欧化改革を断行した。スウェーデンとの北方戦争の最中には、バルト海への出口となる地に新首都ペテルブルクを建設した。また、東方進出に際しては、1689年に清の康熙帝との間でネルチンスク条約を締結し、外興安嶺（スタノヴォイ山脈）とアルグン川を境界とする国境を画定した。
問2	答え 3 主権国家体制	宗教改革や三十年戦争（1618～48年）とその講和条約であるウエストファリア条約を経て、ヨーロッパでは明確な国境で区切られた領域に対して排他的な統治権（主権）を持つ国家が対等な立場で並立する国際秩序が形成された。東アジアの朝貢・冊封体制のような階層的な秩序とは異なり、対等な主権国家間の関係を基礎とする。
問3	答え 4 ラス=カサス	スペインのドミニコ会修道士であるラス=カサスは、著書『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などを通じて、エンコミエンダ制のもとでの先住民（インディオ）に対する虐待を告発し、その保護を主張した。彼の訴えは、国王カルロス1世によるインディアス新法の制定など、スペイン王権が先住民保護の姿勢を示すきっかけとなった。
問4	答え 3 コンバウン朝	18世紀半ばにアラウンパヤーによって建国されたコンバウン朝（アラウンパヤー朝）は、1767年にタイのアユタヤ朝を滅ぼすなど強盛を誇った。しかし、19世紀に入ると領土拡張をめぐってイギリスとの間で3回にわたるイギリス・ビルマ（ミャンマー）戦争が勃発し、最終的に1886年にイギリス領インド帝国に併合された。
問5	答え 1 乾隆帝	清の第6代皇帝である乾隆帝は、ジュンガルや回部を平定して「新疆」と名付け、藩部として統治した。彼の治世に清の領土は最大となり、軍事的な成功は「十全武功」と称された。
問6	答え 3 ムガル帝国	ティムールの子孫であるバーブルは、1526年に北インドに侵入し、パーニーパットの戦いでロディー朝を破ってムガル帝国を建国した。その後、アクバルやアウラングゼーブらのもとでインドの大部分を統一する大帝国へと発展した。
問7	答え 4 乾隆帝	清の第6代皇帝である乾隆帝は、積極的な外征を行い、オイラト系のジュンガルを討伐・征服した。これによりタリム盆地一帯を「新疆」と名付け、理藩院が管轄する藩部とし、清の最大領土を確立した。なお、キャプタ条約は雍正帝期に締結されたものであり、総理事務衙門は同治帝期に設置されたものである。
問8	答え 4 里甲制	明の洪武帝は、元末の混乱で荒廃した農村を再建し、財政基盤を確立するため、110戸を1里とし、そのうち富裕な10戸を里長戸、残りの100戸を甲首戸として、徴税や治安維持を共同で担当させる里甲制を導入した。これにより、国家が直接農民を把握する体制が整えられた。
問9	答え 4 プラッシーの戦い	1757年、クライヴ率いるイギリス東インド会社軍は、フランスと結んだベンガル太守の連合軍を撃破した。この戦いにより、イギリスはインド東部のベンガル地方における実質的な支配権を獲得し、インドの植民地化を本格化させることとなった。
問10	答え 3 ルイ13世	ルイ13世の治世下において、宰相リシュリユーは王権の絶対化を進めるとともに、対外政策ではハプスブルク家を包囲・打倒するために、カトリック国でありながら新教徒側を支援して三十年戦争に介入した。